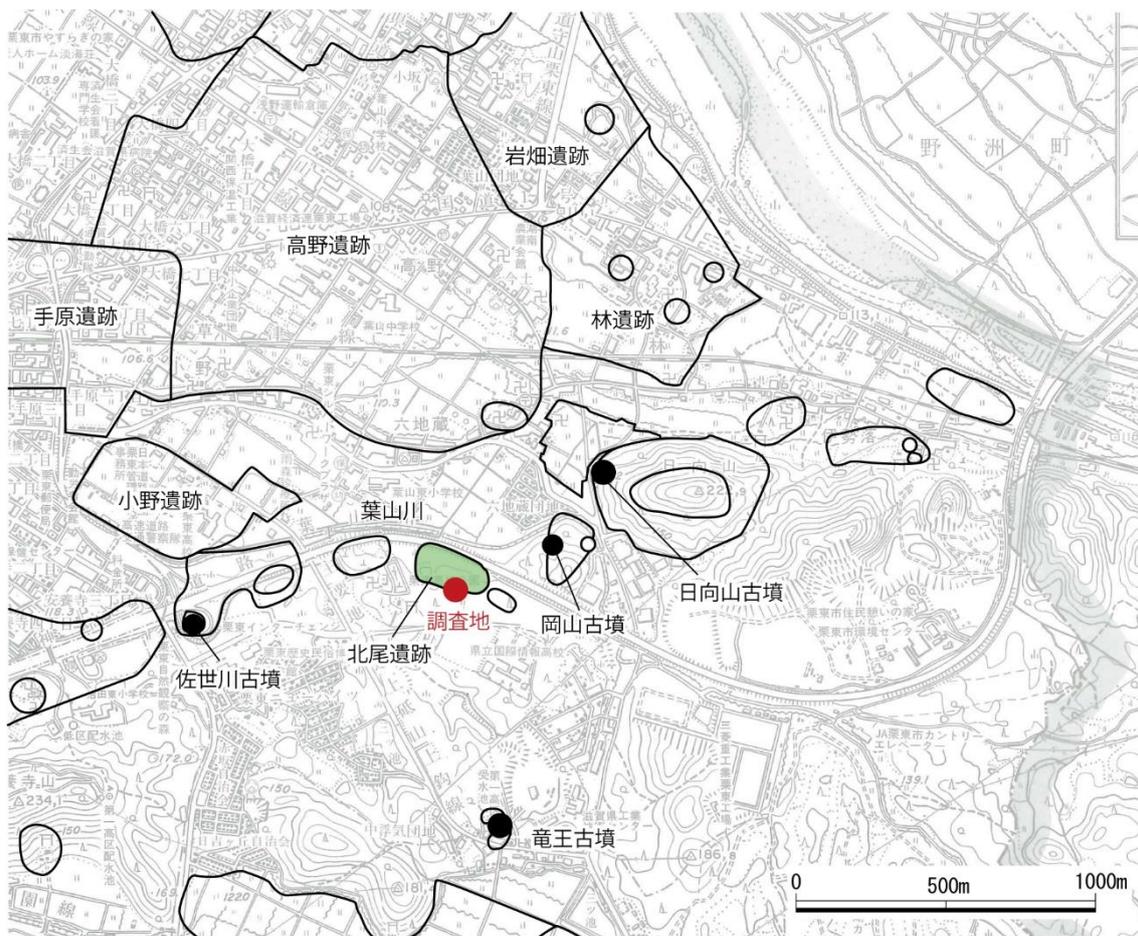


北尾遺跡発掘調査現地説明会資料

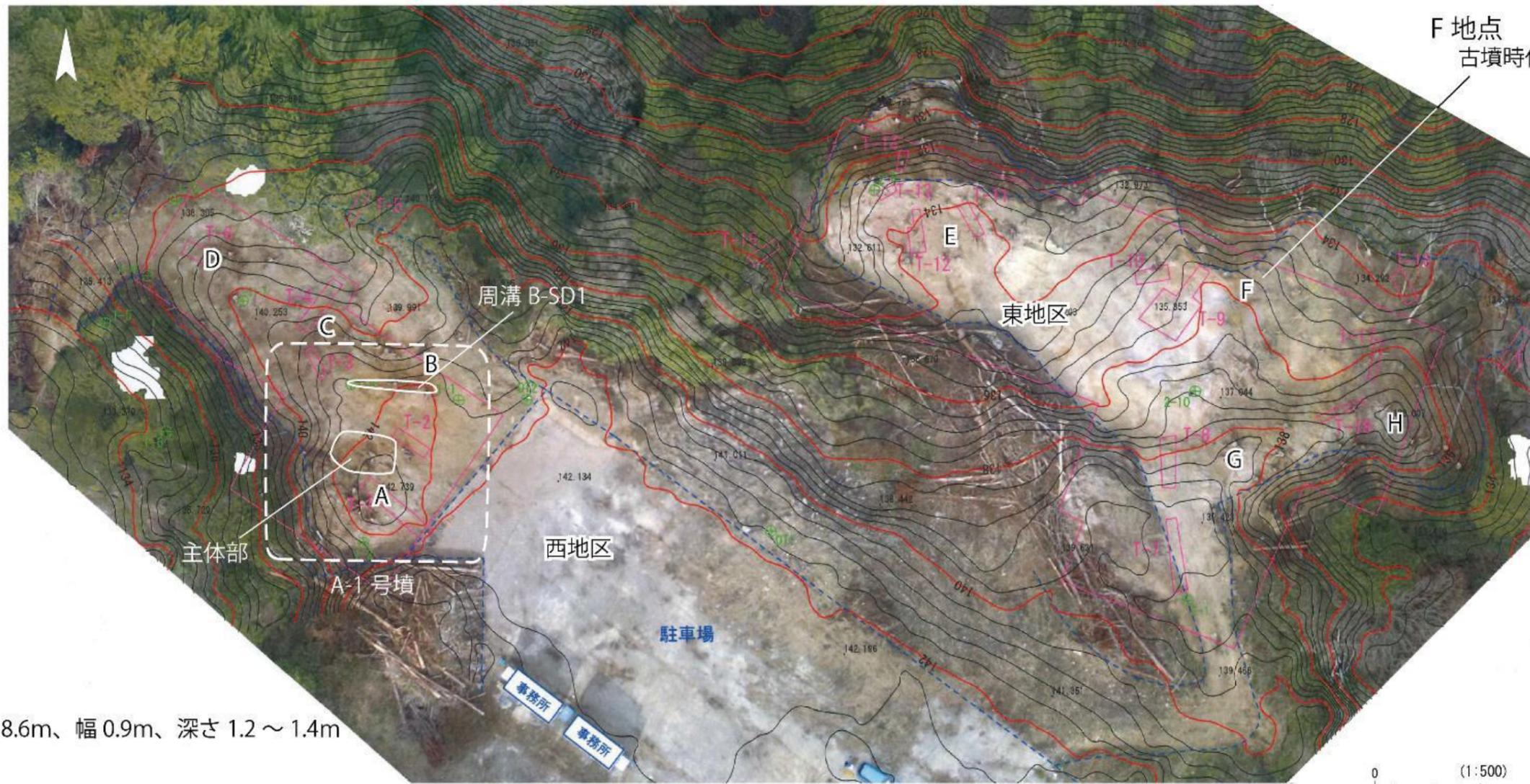
令和4(2022)年4月29日(金)

- 遺跡名：北尾遺跡(2021R082-01)
所在地：滋賀県栗東市小野140-1、140-2
時代：古墳時代
調査面積：1,954 m²
調査期間：令和3年11月1日～現在調査中
調査原因：工業団地建設
調査主体：栗東市教育委員会
調査機関：公益財団法人栗東市スポーツ協会・文化財調査課
調査担当：近藤 広



調査地位置図

調査地全体図



F地点
古墳時代の遺物少量出土

周溝 B-SD1

規模：現状長約 8.6m、幅 0.9m、深さ 1.2 ~ 1.4m
時期：4世紀

古墳 A-1 号墳

墳形：方墳(推定) 一辺 18 ~ 20m、高さ 2.6m
周溝(北側一部残存) 現状長 8m以上、幅約 5 ~ 6m、深さ 1.6m
主体部：横穴式石室(西に向かって開口)
石室全長 5.2m、幅 1.9m
石室床面全体に礫敷きが残存
天井石、奥石は抜き取られているが、側石は一部残存
墓壇掘方：長 6m、幅 3.7m
岩盤を掘り込み、南側は側石部分から約 70cm幅広く掘り込む特殊な工法を採用
出土遺物：玉類 52点(埋木棗玉・ガラス小玉・ガラス粟玉)
耳環 2点
鉄器 12点(鉄釘・刀子・鉄鏃)
須恵器 (大型器台・蓋坏・高坏・壺)
時期：6世紀後半~7世紀前半



埋木製棗玉



耳環



ガラス玉(小玉・粟玉)



鉄釘

古墳 A-1 号墳出土遺物



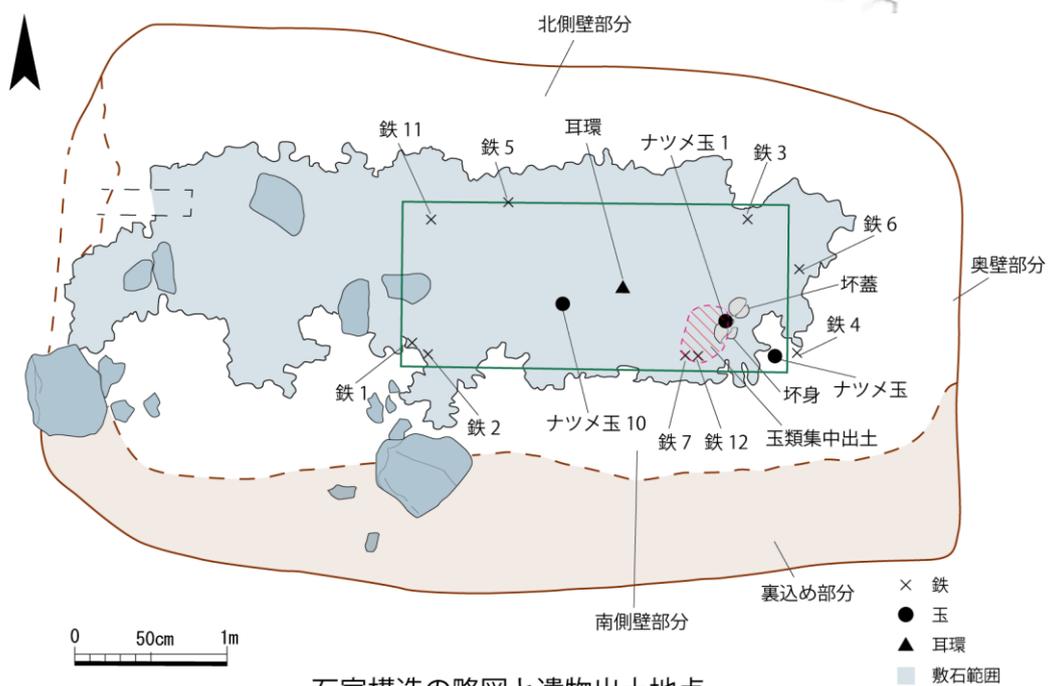
石室全景 東から



石室全景 北から



石室内部イメージ図



石室構造の略図と遺物出土地点